

## 昨年度の授業改善プランの検証

- ・ 3年生は課題を期限前に自主的に提出する生徒が増えた。
- ・ 習熟度の差に出来る限り対応した授業を行い、個別に丁寧な対応をしている。テストを単元ごとに実施し、知識や技能の定着を図っている。単元の振り返りを学習に活かすことが課題。より自主的に学習できるようにつなげたい。

## 今年度の学力調査について

<p style="text-align: center;">分 析</p>	<p>観点別に関して、1学年は、校内平均が知識・理解の目標値と同じ値を示しているが、その他の観点は2～3ポイント下回っている。2学年、3学年はともに、全3観点で目標値をそれぞれ2～5ポイント、7～8ポイント下回り、課題である。</p> <p>領域別に関して、1学年は、データの活用が目標値を2ポイント上回っているが、その他の領域は1～3ポイント下回っている。2学年、3学年はともに全4観点で目標値をそれぞれ2～5ポイント、5～13ポイント下回り、課題である。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度&gt;</b> 校内平均正答率は全学年ともに目標値より下回っている。学年により差はあるが、全体的に数学を理解しようとする姿勢は見受けられる。</p> <p><b>&lt;思考・判断・表現&gt;</b> 校内平均正答率は全学年ともに目標値より下回っている。自力で考えようという姿勢はみられるが、既習事項を活用して考えることが十分できていない。</p> <p><b>&lt;知識・技能&gt;</b> 校内平均正答率は全学年ともに目標値より下回っている。授業を理解しようとする姿勢はあるが、演習量が少なく、定着しきれていない。家庭での学習が少ないことも課題。</p>
<p style="text-align: center;">課 題</p>	<p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度&gt;</b> 算数・数学に対する苦手意識が根強く残っており、自学自習が習慣化していない。家庭学習を定着させることが課題である。</p> <p><b>&lt;思考・判断・表現&gt;</b> 問題から必要な情報を読み取ったり整理したりする力、問題を解決する方法を考える力が十分身に付いていない。論理的思考力を育てることが課題である。</p> <p><b>&lt;知識・技能&gt;</b> 単純な計算ミスを減らすなど、より正確な表現・処理ができるようにしていきたい。特に数と式の計算、図形の内容を復習する必要がある。知識の定着のために、繰り返し学習することが不足している。</p>
<p style="text-align: center;">授 業 改 善 の ポ イ ン ト</p>	<p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度&gt;</b> 課題や宿題を点検・評価することにより自ら学んでいく姿勢と意欲を育てる。ノート、プリント、問題集などを定期的に点検・評価することで学習意欲の向上に取り組む。 授業での課題の提示の仕方を工夫し、基礎の確認を重視しながら、学習内容に興味をもって取り組む姿勢を育てる。</p> <p><b>&lt;思考・判断・表現&gt;</b> 課題や発問を工夫し、考えさせる授業を行う。レポートやグループワークなどにより、課題解決の過程を重視した指導を行って、考える力を伸ばしていく。</p> <p><b>&lt;知識・技能&gt;</b> 思考力を伸ばすことが課題ではあるが、その前提である数学の知識や技能が身につけていないことがわかった。基礎・基本の定着を目指し、反復練習する場を増やす。また、定期テストや単元テストに取り組みせることで、問題を解くことができる喜びを実感させながら、学習意欲の向上を目指していく。</p>